オンライン請求ネットワーク関連システム
共通認証局
ユーザーマニュアル
(Windows IE)

Version 1.11.0

令和８年11月６日

目次

目次 2
はじめに 6
事前準備 6
1. 各種申請の流れ 7
1.1. 電子証明書の新規発行手続き 7
1.2. 電子証明書の更新手続き 8
1.2.1. MPKI クライアントを利用した電子証明書の更新 9
1.2.2. 電子証明書更新サイトからの電子証明書の更新 10
1.3. 電子証明書の失効手続き 11
2. 電子証明書の新規発行手続き 12
2.1. 電子証明書の新規発行申請 12
2.2. MPKI クライアントインストール 12
2.3. 電子証明書のダウンロード 15
2.4. 電子証明書のインストール 17
2.4.1. こんなときは！ 20
2.5. 登録した電子証明書の確認 21
2.6. 電子証明書のバックアップ 22
3. 電子証明書の更新手続き 23
3.1. MPKI クライアントを利用した電子証明書の更新 24
3.1.1. MPKI クライアントのバージョンアップ 24
3.1.2. 電子証明書の更新 24
3.1.3. 電子証明書のバックアップ 27
3.2. 電子証明書更新申請サイトからの電子証明書の更新 29
3.2.1. 電子証明書の更新 29
3.2.2. 登録した電子証明書の確認 37
3.2.3. 電子証明書のバックアップ 38
4. 電子証明書の失効手続き 40
4.1. 電子証明書の失効申請 40
4.2. 電子証明書の削除 41
5. 電子証明書の削除 42
6. サポート情報 44
6.1. MPKI クライアント利用環境 44
6.2. ご利用にあたっての注意事項 45
6.2.1. 認証用の電子証明書の選択画面が表示された場合 45

6.2.2. MPKI クライアントインストール時の注意事項 45
6.2.3. セッション無効時の対応トラブルシューティング..... 45
6.2.4. 操作継続失敗画面表示時のトラブルシューティング..... 46
6.2.5. ルート証明書の取得とインストール..... 46
MPKI クライアントのバージョンアップ 53

Date	Version #	Summary of Changes
2020/12/14	1.0.0	初版
2020/1/4	1.1.0	・「1.1 証明書ダウンロード」のダウンロード方法の追記 ・手順案内様式の変更
2021/3/22	1.2.0	・「3 証明書の失効」の修正
2021/4/16	1.3.0	・「5.3 ルート証明書の取得とインストール」の追加
2022/04/13	1.5.0	・「5.4. MPKI クライアントのバージョンアップ」を追加
2024/5/13	1.6.0	・「1.2.証明書のインストール」4.「秘密キーの保護」「このキーをエクスポート可能にする」のチェックを外すに変更
2024/10/01	1.7.0	・「1. **各種申請の流れ**」を追加 ・「3.1.2. **電子証明書の更新**」に電子証明書のバックアップファイル作成の手順を追加 ・章立ての見直し
2025/02/19	1.8.0	認証局サービスの制約事項として、Web ブラウザについて複数ウィンドウ・タブを開いた状態で画面の操作を行うとデータ不整合が発生する データ不整合を発生させないため、Web ブラウザを用いた各操作の前後に必ず閉じるように注意文言を追加
2026/03/02	1.9.0	・「3.2.1.　電子証明書の更新」内「鍵の取得」画面「パスワード」の入力桁数の記載を訂正

Date	Version #	Summary of Changes
2026/10/01	1.10.0	・「支払基金」の名称を「DX 審査支払機構」に変更 ・「1.2.　電子証明書の更新手続き」及び「1.3.　電子証明書の失効手続き」に記載されている、メール通知の送信元アドレスを変更 ・「オンライン請求ネットワーク関連システム共通認証局電子証明書の発行等申請の手引き」の URL を変更
2026/11/06	1.11.0	・「6.2.4. 操作継続失敗画面表示時のトラブルシューティング」の追加 ・「2.3.電子証明書のダウンロード」、「3.2.1.　電子証明書の更新」、「4.1.　電子証明書の失効申請」の参照先 「6.2.4.ルート証明書の取得とインストール」 を「6.2.5.ルート証明書の取得とインストール」に修正

はじめに

本書は、オンライン請求ネットワーク関連システム共通認証局（以下、「共通認証局」という。）において、利用者がオペレーションできる証明書の取得、更新、および更新ツール（MPKIクライアント）について記述したものです。

事前準備

証明書の取得、更新、および失効には、レセプトオンライン請求ネットワークの接続設定を行う必要があります。未設定の方は、システムベンダ等へご確認の上、設定ください。

- レセプトオンライン請求の場合

[ネットワーク接続設定と端末のセットアップ設定]
オンライン請求システムセットアップ CD-ROM に同梱の「オンライン請求システム操作手順書」参照

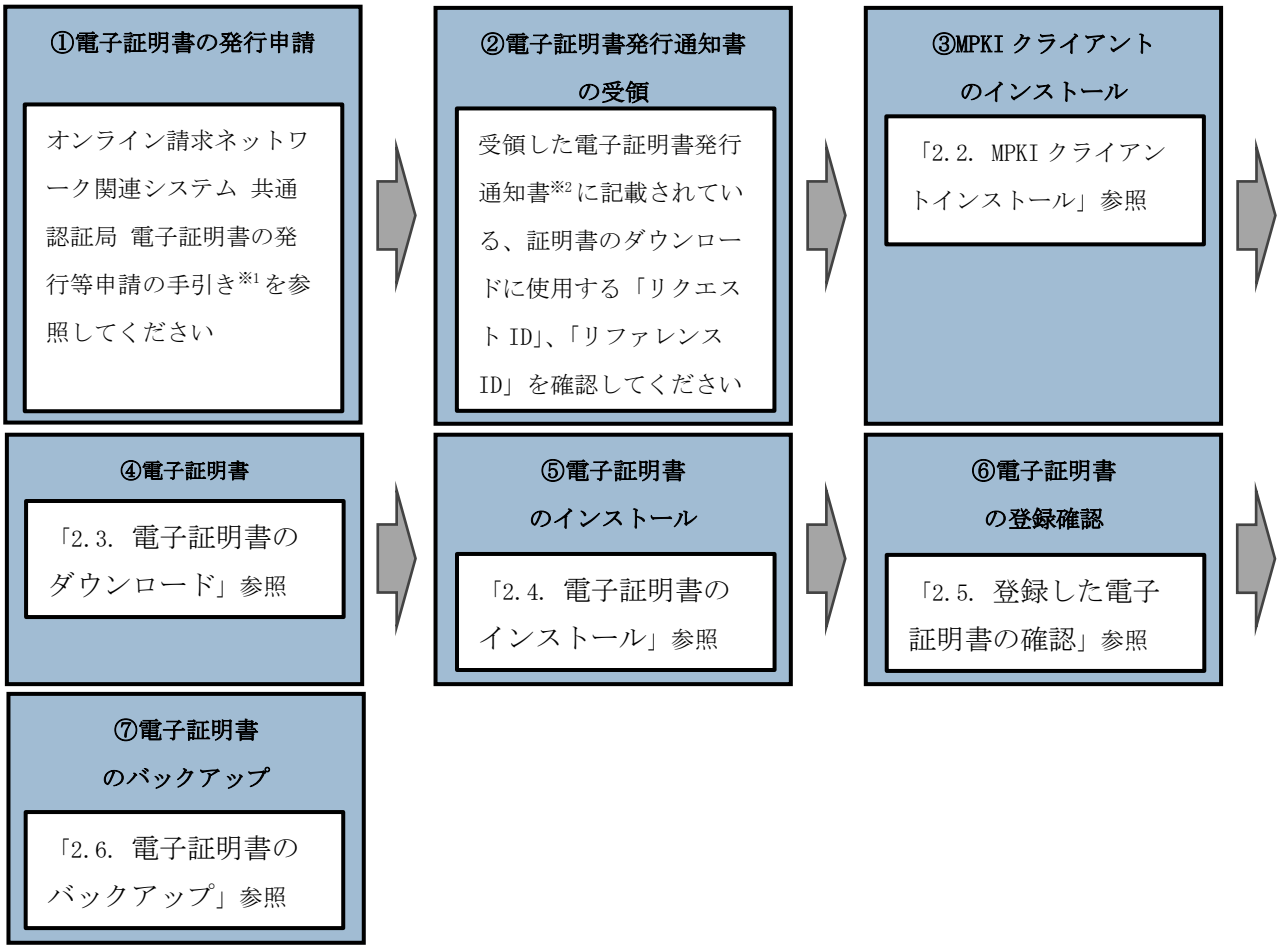
1. 各種申請の流れ

1.1. 電子証明書の新規発行手続き

注意

ブラウザから複数のタブやウインドウを開いた状態で、各種手続きを実施した場合、証明書が正しい申請内容で手続き出来ない場合があります。
必ずすべてのブラウザを閉じてから、手続きを実施して下さい。

電子証明書の新規発行は、以下の流れでマニュアルの手順を実施してください。



※1 オンライン請求ネットワーク関連システム 共通認証局 電子証明書の発行等申請の手引き 参照
https://www.hpdx.or.jp/seikyushiharai/iryokikan/download/index.files/kyotu_tebiki.pdf

※2 電子証明書を新規発行した場合に簡易書留で郵送される通知書

1.2. 電子証明書の更新手続き

電子証明書の更新は、有効期限が90日未満となった場合に実施できます。

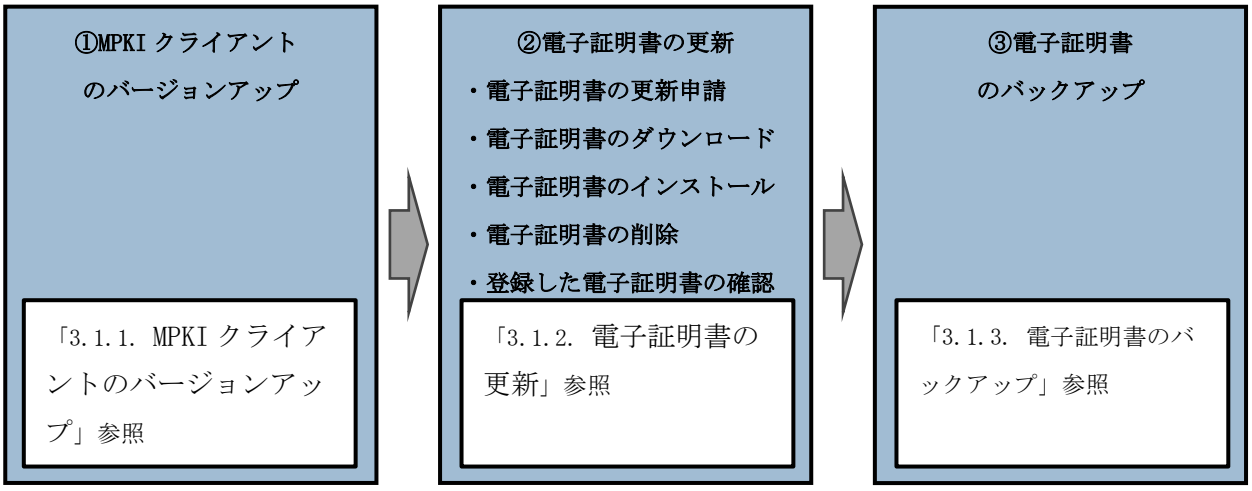
【更新手続き・有効期限に関する周知】

Windows の通知（MPKI クライアント）	有効期限の 90 日前、60 日前、30 日前、15 日前、7 日前～期限日
オンライン資格確認等システムにメッセージを表示	有効期限の 90 日前、60 日前、30 日前、15 日前、7 日前～期限日
オンライン請求システムにメッセージを表示 ※DX 審査支払機構のみ	有効期限の 90 日前～期限日
メール通知 ※電子証明書の発行申請時に入力したメールアドレス宛に「no-reply@hpdx.or.jp」からメール通知	有効期限の 75 日前、60 日前、45 日前、30 日前、15 日前、7 日前～期限日

電子証明書の更新をする場合、「3.1. MPKI クライアントを利用した電子証明書の更新」または「3.2. 電子証明書更新申請サイトからの電子証明書の更新」いずれかの手順で実施してください。

1.2.1. MPKI クライアントを利用した電子証明書の更新

（MPKI クライアントがインストールされている必要があります）

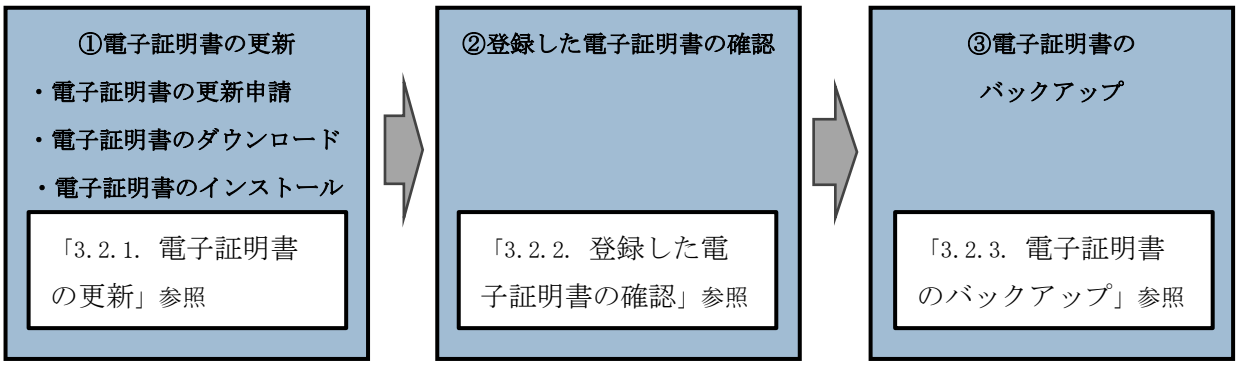


③電子証明書のバックアップまでの操作を更新前の電子証明書の有効期限（３年３か月）までに実施してください。
※更新前の電子証明書の有効期限（３年３か月）を過ぎると、更新済みの電子証明書がダウンロードできなくなります。

1.2.2.　電子証明書更新サイトからの電子証明書の更新

注意

ブラウザから複数のタブやウインドウを開いた状態で、各種手続きを実施した場合、証明書が正しい申請内容で手続き出来ない場合があります。
必ずすべてのブラウザを閉じてから、手続きを実施して下さい。



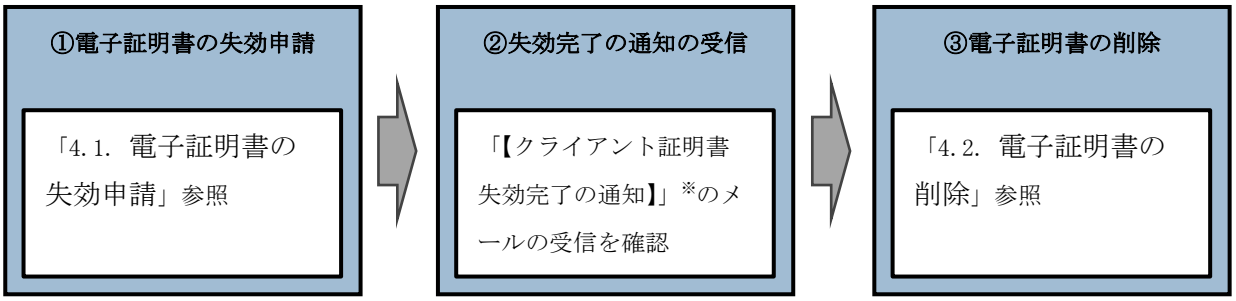
③電子証明書のバックアップまでの操作を更新前の電子証明書の有効期限（３年３か月）までに実施してください。
※更新前の電子証明書の有効期限（３年３か月）を過ぎると、更新済みの電子証明書がダウンロードできなくなります。

1.3.　電子証明書の失効手続き

電子証明書の失効をする場合、以下の流れでマニュアルの手順を実施してください。

注意

ブラウザから複数のタブやウインドウを開いた状態で、各種手続きを実施した場合、証明書が正しい申請内容で手続き出来ない場合があります。
必ずすべてのブラウザを閉じてから、手続きを実施して下さい。



※　失効申請の後、共通認証局において失効処理が完了すると、メールアドレス「no-reply@hpdx.or.jp」から電子証明書の発行申請時に設定したメールアドレス宛に「【クライアント証明書 失効完了の通知】」が送信されます。
なお、失効処理が完了するまで数日間要する場合があります。

2.　電子証明書の新規発行手続き

2.1.　電子証明書の新規発行申請

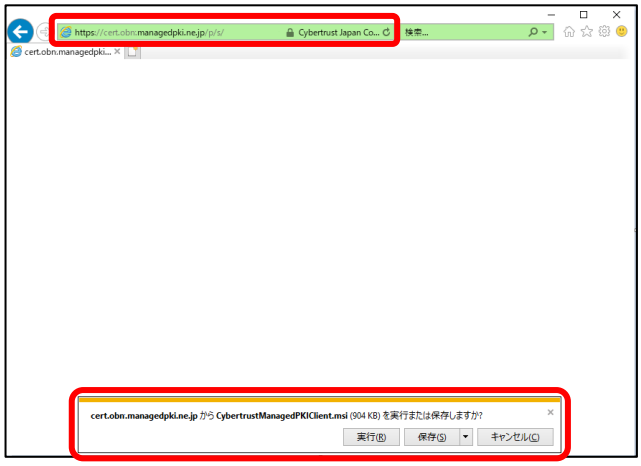
電子証明書の新規発行の手続きについては「オンライン請求ネットワーク関連システム共通認証局電子証明書の発行等申請の手引き」（下記 URL）を参照ください。
https://www.hpdx.or.jp/seikyushiharai/iryokikan/download/index.files/kyotu_tebiki.pdf
お手元に電子証明書発行通知書が届きましたら「2.2. MPKI クライアントインストール」以降の手順を実施ください。

2.2.　MPKI クライアントインストール

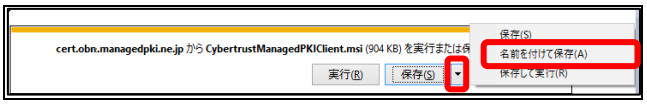
【MPKI クライアントとは】

MPKI クライアントを使用すると、有効期限の前に更新をお知らせする機能や証明書の更新を簡易に行う機能が利用できます。
MPKI クライアントをインストールできる対象の OS は、Windows8.1 と Windows10 です。
また、「Microsoft .NET Framework 4.8」以上がインストールされている必要があります。
利用環境の詳細は「6.1. MPKI クライアント利用環境」を参照ください。
インストール中にエラーが発生した場合は、「6.2.2. MPKI クライアントインストール時の注意事項」を参照ください。

注意　**必ずすべてのブラウザを閉じてから、手続きを実施して下さい。**



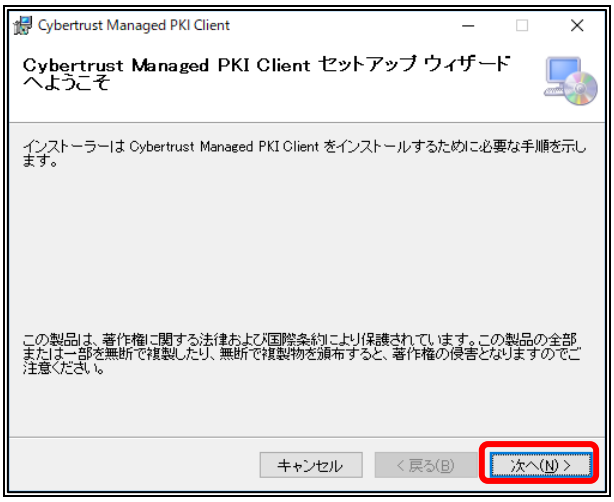
1．オンライン請求ネットワークへ接続の端末から MPKI クライアント取得用サイトにアクセスし、MPKI クライアントのインストーラーをダウンロードします。
【ダウンロードサイト】
https://cert.obn.managedpki.ne.jp/p/s



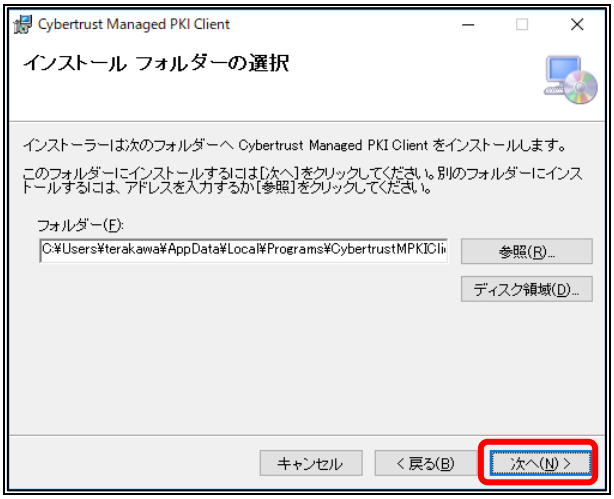
２．「**▼**」をクリックし、「**名前をつけて保存**」をクリックし、任意の場所に保存します。



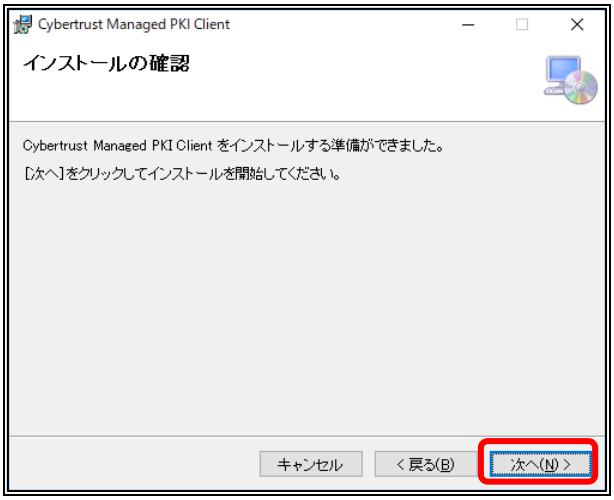
３．「**CybertrustManagedPKIClient.msi**」ファイルを右クリックし、「**インストール**」をクリックします。



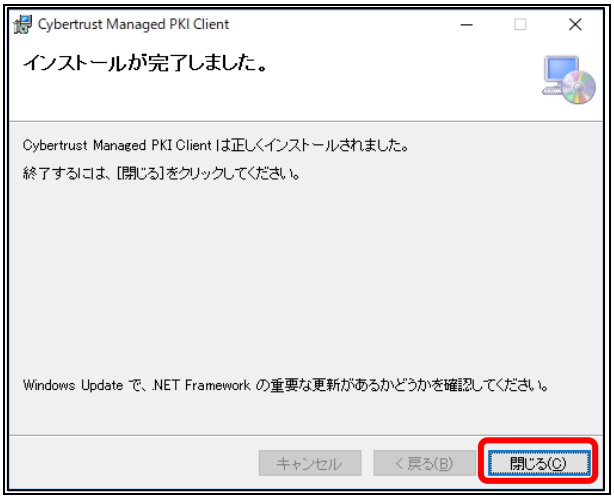
４．「Cybertrust Managed PKI Client セットアップウィザード」が開始されます。「**次へ**」をクリックします。



５．「**次へ**」をクリックします。



6．「**次へ**」をクリックします。



7．「**閉じる**」をクリックします。



8．MPKI クライアントのインストールが完了すると、スタートメニューに「**Cybertrust Managed PKI Client**」が追加されます。

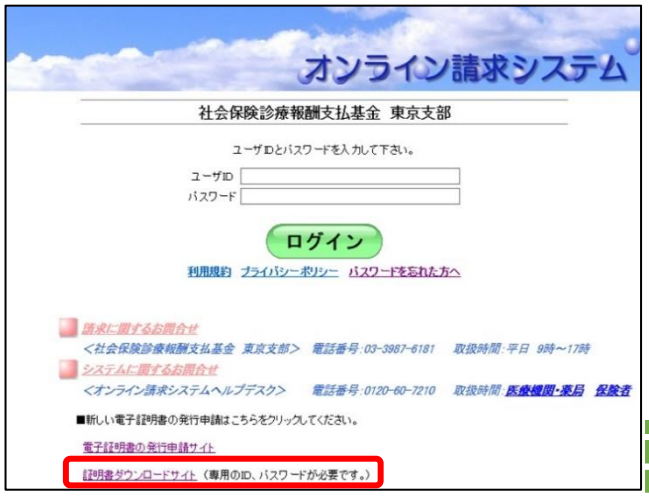
注意 **上記の操作が終了したら、必ずすべてのブラウザを閉じて下さい。**

2.3. 電子証明書のダウンロード

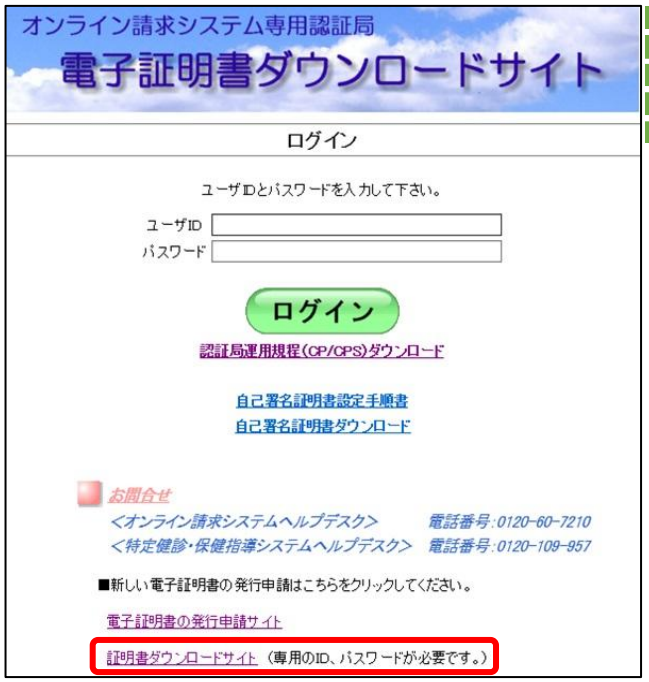
電子証明書をダウンロードサイトよりダウンロードします。
お手元に電子証明書発行通知書の「電子証明書取得に関する情報」をご用意願います。
電子証明書のダウンロード可能期間は、発行後 180 日以内ですので、期間内にダウンロードするようご留意願います。

注意	必ずすべてのブラウザを閉じてから、手続きを実施して下さい。

・オンライン請求システムのログイン画面



・電子証明書ダウンロードサイト

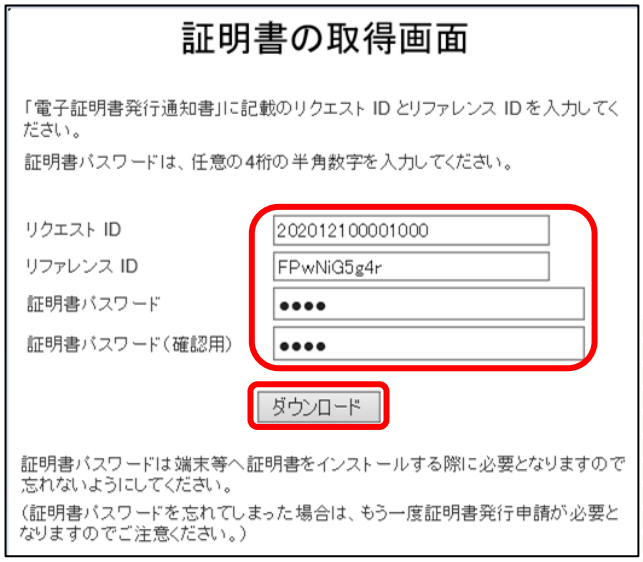


1．レセプトオンライン請求端末からダウンロードサイトにアクセスします。
【ダウンロードサイト】
https://cert.obn.managedpki.ne.jp/p/rcd

オンライン請求システムのログイン画面または電子証明書ダウンロードサイトよりアクセスできます。

【こんなときは！】

証明書のダウンロード画面を開く時、ブラウザの画面に「お使いの PC は Web サイトのセキュリティ証明書を信頼しません」と表示される場合は、ルート証明書のインストールが必要であるため、「6.2.5. ルート証明書の取得とインストール」を参照



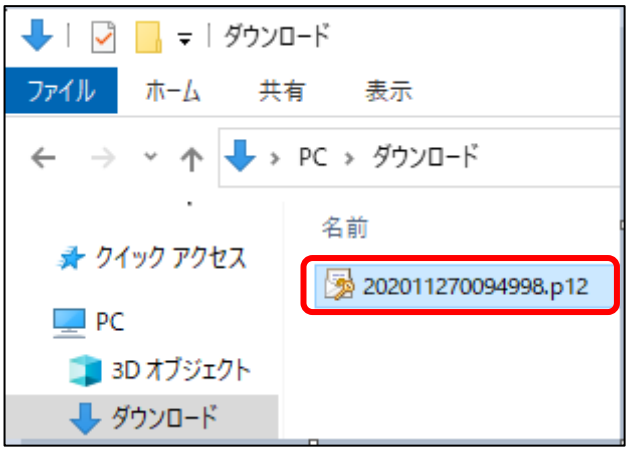
２．証明書発行通知書に記載の「**リクエスト ID**」と「**リファレンス ID**」及び**証明書パスワード**」に任意のパスワード（鍵の暗号化・復号に利用）半角数字４桁を入力し、「**ダウンロード**」をクリックします。

【注意】

入力した証明書パスワードは、「2.4. 電子証明書のインストール」の「４．」で使用します。**設定したパスワードを忘れないようにしてください。**



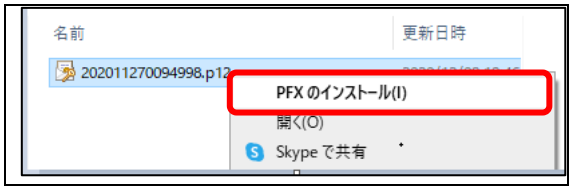
３．「**▼**」をクリックし、「**名前をつけて保存**」をクリックし、任意の場所に保存します。



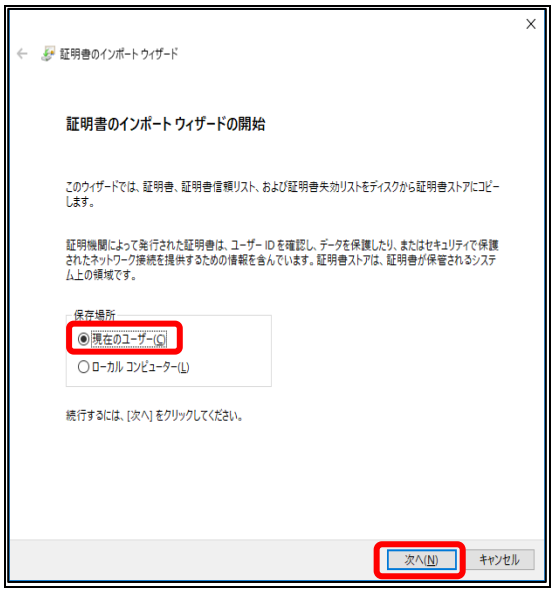
４．証明書がダウンロードできていることを確認します。

注意	上記の操作が終了したら、必ずすべてのブラウザを閉じて下さい。

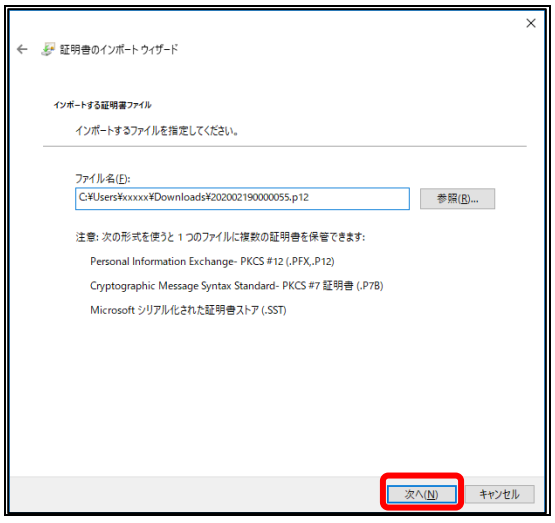
2.4. 電子証明書のインストール



1．ダウンロードした証明書ファイルを右クリックし、「**PFX のインストール**」をクリックします。



2．「**現在のユーザー**」を選択し、「**次へ**」をクリックします。



3．「**ファイル名**」に証明書のファイル名が表示されていることを確認し、「**次へ**」をクリックします。

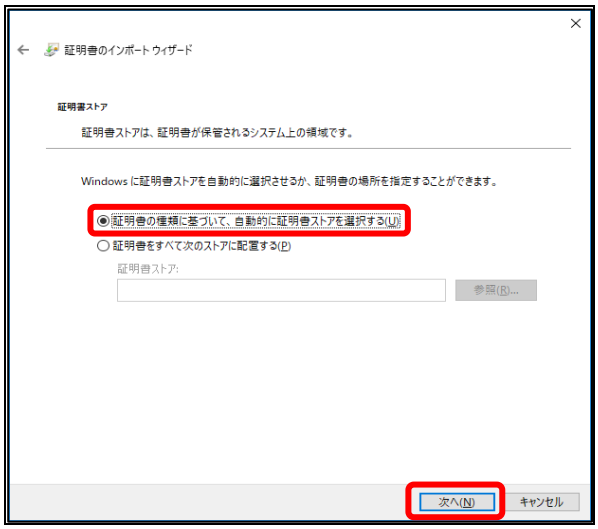


4．［パスワード］に**「1.1.証明書のダウンロード」で設定したパスワードを入力**します。

［秘密キーの保護を強力にする］の
チェックを外す
［このキーをエクスポート可能にする］を
チェックを外す
［すべての拡張プロパティを含める］を
チェックする
「**次へ**」をクリックします。

【こんなときは！】

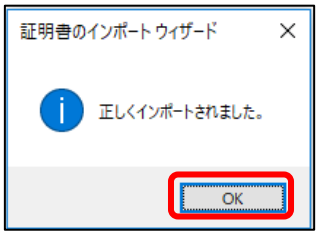
「秘密キーの保護を強力にする」のチェックが外せない場合は、セキュリティを強化する設定がされているため、P20「2.4.1. こんなときは！」を参照

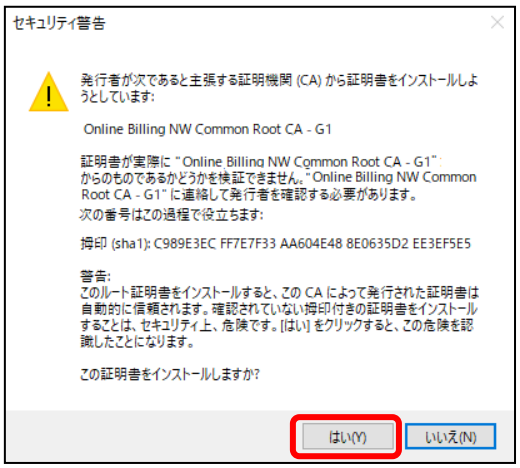


5．**「証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する」**を選択後、「**次へ**」をクリックします。



6．「**完了**」をクリックします。





7．「**OK**」をクリックします。

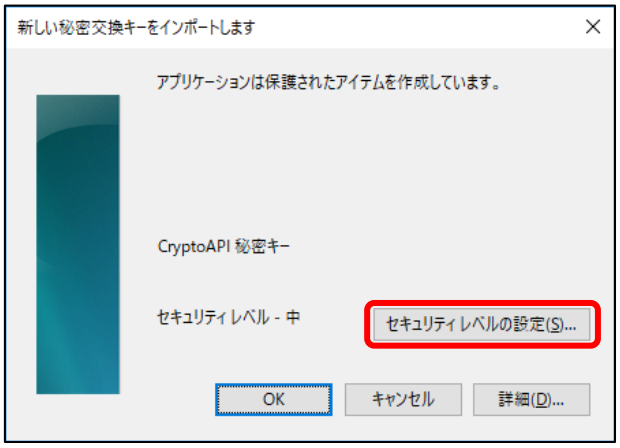
【こんなときは！】

「セキュリティ警告」の画面が表示された場合、「**はい**」をクリックします。

「証明書発行者（認証局）の証明書」は、インストールを行った証明書が「証明書発行者（認証局）」によって発行された証明書であることを確認（ご使用のブラウザが自動的に確認）する時に必要です。「いいえ」をクリックした場合は、「2.4. 電子証明書のインストール」を再度行ってください。

2.4.1. こんなときは！

※証明書インストール時に「**新しい秘密交換キーをインポートします**」と表示された場合は、次の操作を行ってください。表示されない場合には「2.5. 登録した電子証明書の確認」に進みます。



1．「**セキュリティレベルの設定**」をクリックします。



2．任意の「**CyptoAPI 秘密キー**」のパスワードを入力し、「**完了**」をクリックします。

【※重要※】

作成したパスワードは、今後の証明書の更新時に利用するため、忘れないよう大切に保管ください。



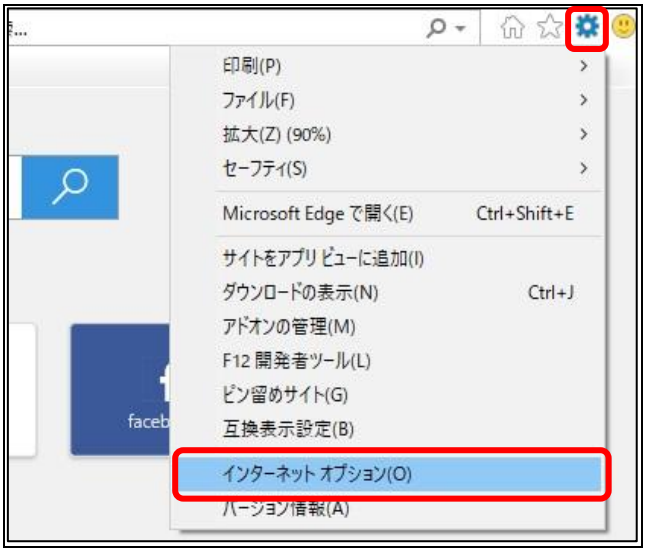
3．「**ＯＫ**」をクリックします。

2.5. 登録した電子証明書の確認

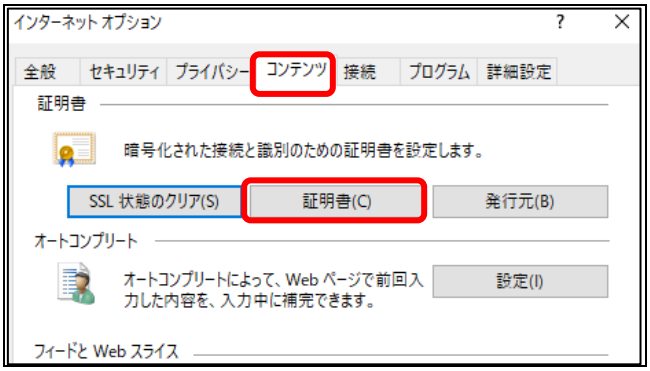
注意 **必ずすべてのブラウザを閉じてから、手続きを実施して下さい。**



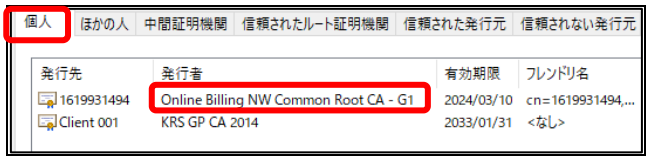
1．Internet Explorer を起動します。



2．画面右上の「**ツール**」ボタンから「**インターネットオプション**」をクリックします。



3．「**コンテンツ**」タブを選択し、「**証明書**」をクリックします。

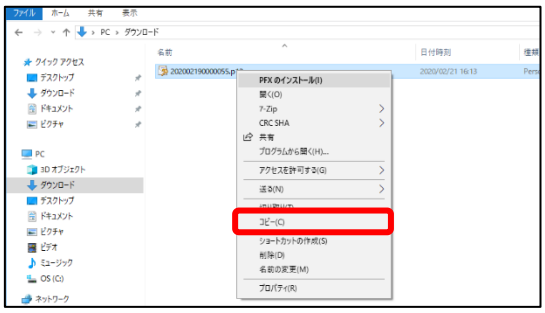


４．「**個人**」タブを開き、発行者が「**Online Billing NW Common Root CA**」と表示されている証明書が登録されていることを確認します。

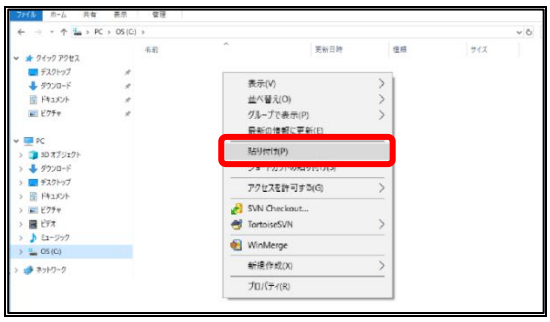
注意　**上記の操作が終了したら、必ずすべてのブラウザを閉じて下さい。**

2.6.　電子証明書のバックアップ

外部記録媒体等へ証明書をバックアップします。バックアップした証明書はパソコンが故障した際などに他のパソコンにインストールすることができます。その際には、「2.3. 電子証明書のダウンロード」で設定したパスワードも必要となるため、忘れないように保管ください。



１．インストールを行った証明書ファイルを選択し右クリックで「**コピー**」を選択します。



２．外部記録媒体等のフォルダを開き、「**貼り付け**」を選択します。

【注意】

「電子証明書」「電子証明書発行通知書」「証明書の取得画面で入力した証明書パスワード」は厳重に管理してください。これら３つの情報が第三者に渡ると、電子証明書が不正に使用される恐れがあります。

電子証明書の新規発行手続きの作業はこれで終了です。

3. 電子証明書の更新手続き

有効期限が切れる前に必ず、「3.1. MPKI クライアントを利用した電子証明書の更新」または「3.2. 電子証明書更新申請サイトからの電子証明書の更新」のいずれかの手順を実施してください。

※「3.1. MPKI クライアントを利用した電子証明書の更新」の手順を実施するには MPKI クライアントがインストールされている必要があります。

MPKI クライアントがインストールされている場合、タスクバーのタスクトレイにが表示されております。(タスクトレイをすべて表示してご確認ください。)

3.1. MPKI クライアントを利用した電子証明書の更新

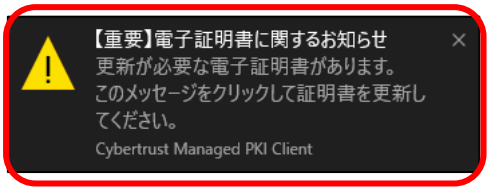
3.1.1. MPKI クライアントのバージョンアップ

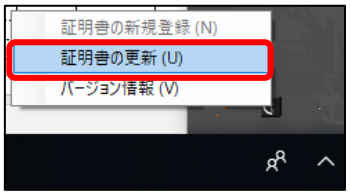
以下の手順を実施してください。

(1) 「6.1. MPKI クライアント利用環境」を読み、利用環境の確認を行って下さい。

(2) 利用環境の条件を満たしている場合、「0MPKI クライアントのバージョンアップ」の作業を行ってください。

3.1.2. 電子証明書の更新

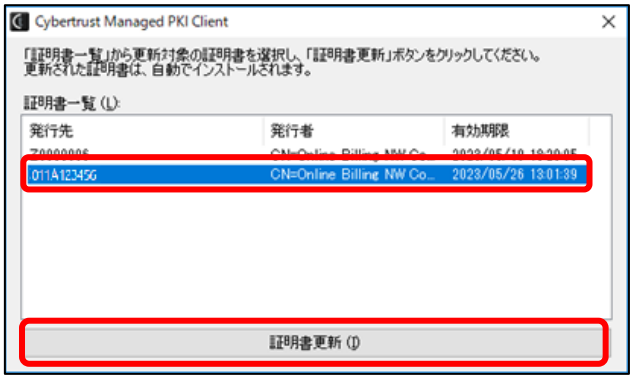




1．「**証明書に関するお知らせ**」通知をクリックします。

【こんなときは！】

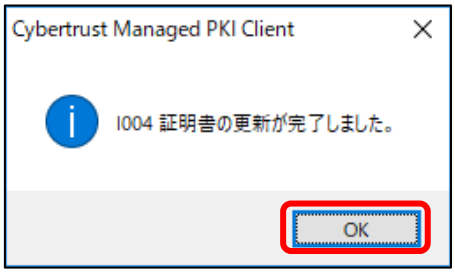
お知らせが表示されていない場合は、タスクトレイのアイコンを右クリックから操作できます。表示される以下のメニューから、「**証明書の更新**」 をクリックします。



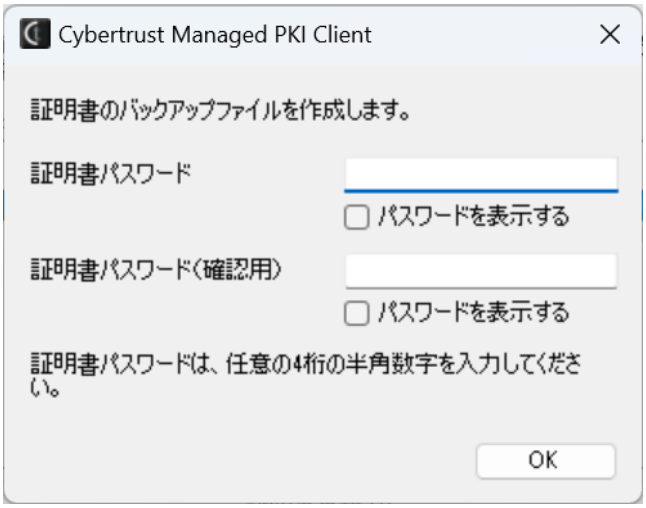
2．**更新したい証明書**を選択し、「**証明書更新**」をクリックします。



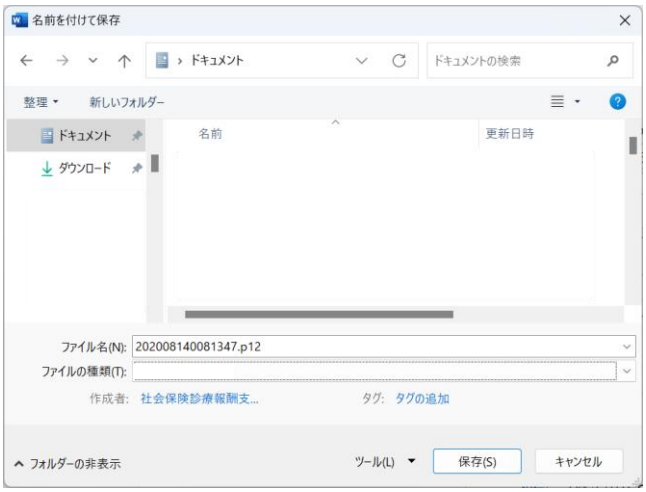
3．「**はい**」をクリックします。



4．「ＯＫ」をクリックします。



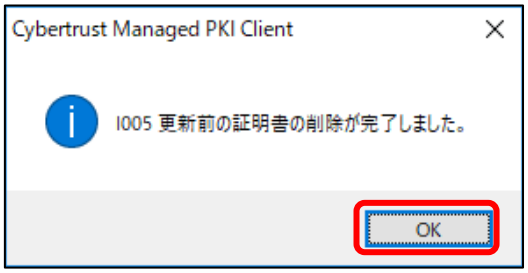
5．「パスワード」に鍵の暗号化パスワード（任意のパスワード）半角数字４桁を入力して「ＯＫ」をクリックします。



6．証明書の保存先を指定して「保存」をクリックします。



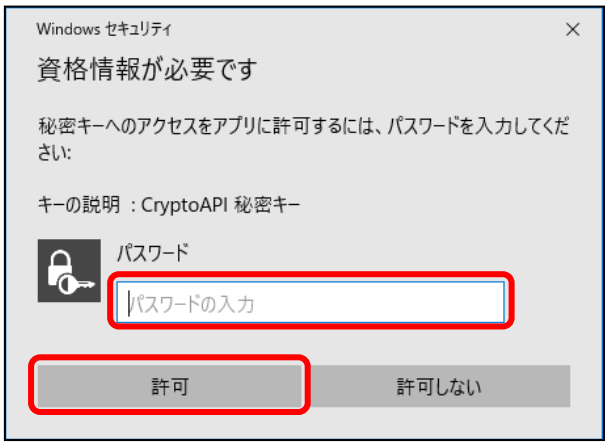
7．「はい」をクリックします。



８．「**ＯＫ**」をクリックします。

3.1.2.1.　こんなときは！

※パスワードの入力が求められた場合は、証明書のインストール時「2.4.1.　こんなときは！」で設定した「**CyptoAPI 秘密キー**」のパスワードを入力します。



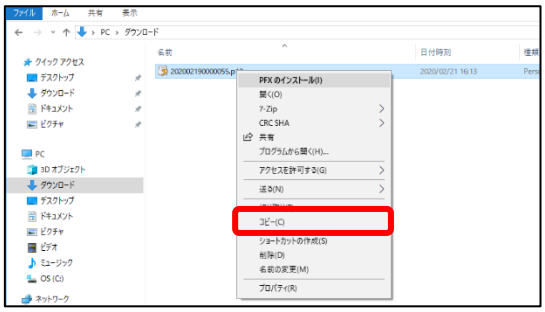
1．パスワードを入力し、「**許可**」をクリックします。

※パスワードは、証明書のインストール時「2.4.1.　こんなときは！」で設定したパスワードです。

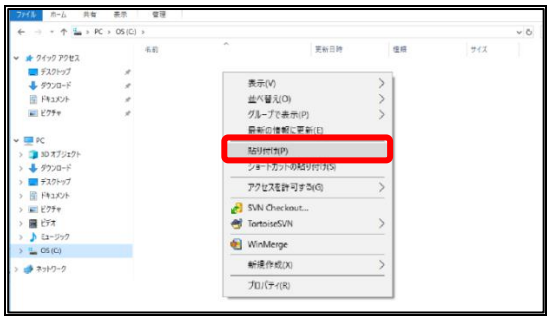
3.1.3.　電子証明書のバックアップ

外部記録媒体等へ電子証明書をバックアップします。バックアップした電子証明書はパソコンが故障した際などに他のパソコンにインストールすることができます。その際には、「3.1.2.　電子証明書の更新」の「６．」で設定したパスワードも必要となるため、忘れないように保管ください。

なお、セキュリティや法令遵守の理由からバックアップ目的以外での電子証明書の複製は禁止しております。



1．「3.1.2.　電子証明書の更新」を行った電子証明書ファイルを選択し右クリックで「**コピー**」を選択します。



2．外部記録媒体等のフォルダを開き、「**貼り付け**」を選択します。

【注意】

「電子証明書」「証明書の取得画面で入力した証明書パスワード」は厳重に管理してください。これら 2 つの情報が第三者に渡ると、電子証明書が不正に使用される恐れがあります。

MPKI クライアントを利用した電子証明書の更新の作業はこれで終了です。

3.2.　電子証明書更新申請サイトからの電子証明書の更新

3.2.1.　電子証明書の更新

注意　**必ずすべてのブラウザを閉じてから、手続きを実施して下さい。**



１．**更新対象の証明書がインストールされた端末**からオンライン請求ネットワークに接続して更新申請画面へアクセスします。

【証明書更新申請サイト】

https://cert.obn.managedpki.ne.jp/p/ru

※オンライン請求システムにログインすると、電子証明書更新申請サイトのリンクがあります。

【こんなときは！】

証明書の更新画面を開く時、ブラウザの画面に「お使いの PC は Web サイトのセキュリティ証明書を信頼しません」と表示される場合は、ルート証明書のインストールが必要であるため、「6.2.5.　ルート証明書の取得とインストール」を参照



２．更新対象の証明書を選択し、「ＯＫ」をクリックします。

※「Online Billing NW Common Root CA 」と表記されていることを確認します。



3．「**証明書更新申請**」をクリックします。



4．「Submit」をクリックします。



５．「**送信完了**」画面の「**証明書ステータス**」が「**発行済み**」となれば証明書が発行されます。

「**証明書ステータス**」は、「**鍵生成中**」→「**発行要求中**」→「**発行済み**」と遷移します。



６．「**鍵の取得**」画面に遷移後、「**パスワード**」に任意のパスワード（鍵の暗号化・復号に利用）半角数字４桁以上を入力し、「**Submit**」をクリックします。

【注意】

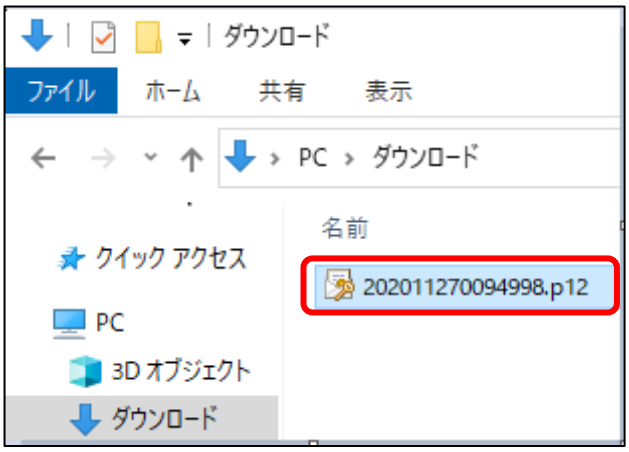
入力した証明書パスワードは、「3.2.1. 電子証明書の更新」で使用します。**設定したパスワードを忘れないようにしてください。**



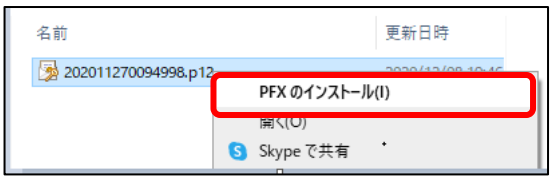
７．「**Download**」をクリックします。



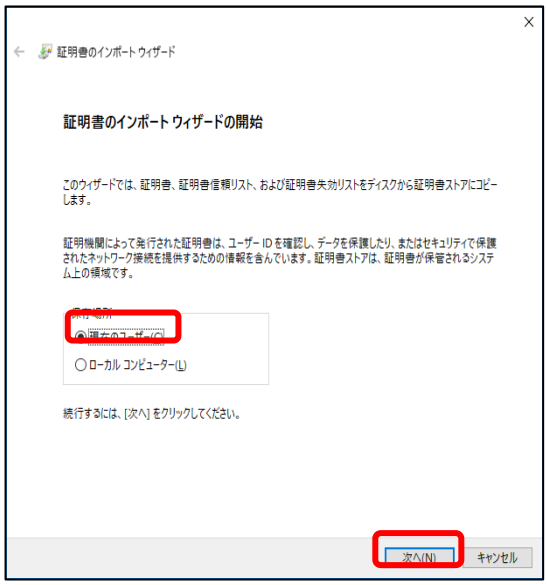
８．「**▼**」をクリックし、「**名前をつけて保存**」をクリックし、任意の場所に保存します。



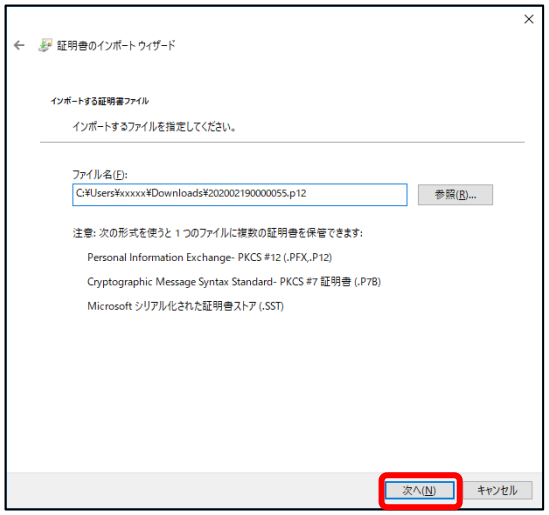
９．証明書がダウンロードできていることを確認します。



１０．ダウンロードした証明書ファイルを右クリックし、「**PFX のインストール**」をクリックします。



１１．「**現在のユーザー**」を選択し、「**次へ**」をクリックします。



１２．「**ファイル名**」に証明書のファイル名が表示されていることを確認し、「**次へ**」をクリックします。

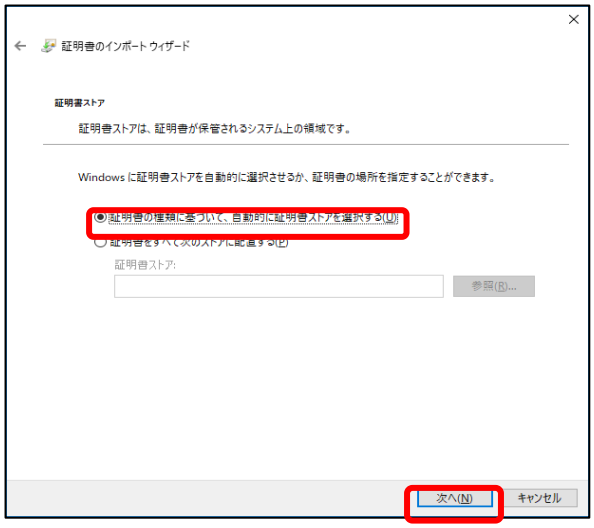


１３．「**パスワード**」に「**1.1.証明書のダウンロード」で設定したパスワードを入力**します。

[秘密キーの保護を強力にする]の
チェックを外す
[このキーをエクスポート可能にする]を
チェックを外す
[すべての拡張プロパティを含める]を
チェックする
「**次へ**」をクリックします。

【こんなときは！】

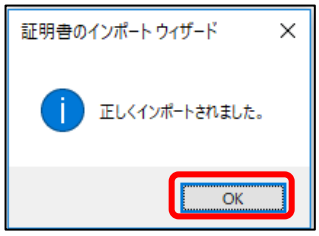
「秘密キーの保護を強力にする」のチェックが外せない場合は、セキュリティを強化する設定がされているため、P36「3.2.1.2.こんなときは！」を参照

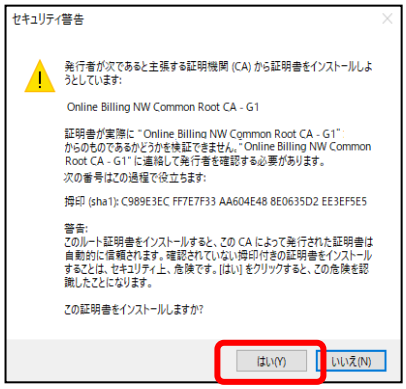


１４．「証明書**の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する**」を選択後、「**次へ**」をクリックします。



１５．「**完了**」をクリックします。





１６．「**OK**」をクリックします。

【こんなときは！】

「セキュリティ警告」の画面が表示された場合、「**はい**」をクリックします。

「証明書発行者（認証局）の証明書」は、インストールを行った証明書が「証明書発行者（認証局）」によって発行された証明書であることを確認（ご使用のブラウザが自動的に確認）する時に必要です。「いいえ」をクリックした場合は、「3.2.1.　　」を再度行ってください。

注意　**上記の操作が終了したら、必ずすべてのブラウザを閉じて下さい。**

3.2.1.1. こんなときは！

証明書または鍵の更新作業中に、ネットワークやシステム等の障害で証明書または鍵の取得に失敗した場合は、再度証明書または鍵を取得してください。

注意 **必ずすべてのブラウザを閉じてから、手続きを実施して下さい。**



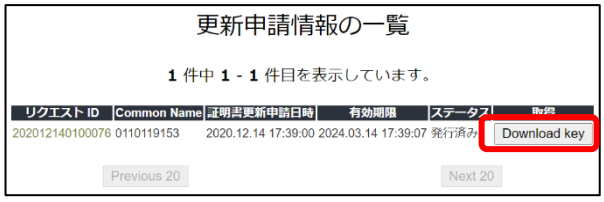
1．**更新対象の証明書がインストールされた端末**からオンライン請求ネットワークに接続して更新申請画面へアクセスします。

【証明書更新申請サイト】

https://cert.obn.managedpki.ne.jp/p/ru



2．更新申請画面の「**更新後証明書の取得**」をクリックします。



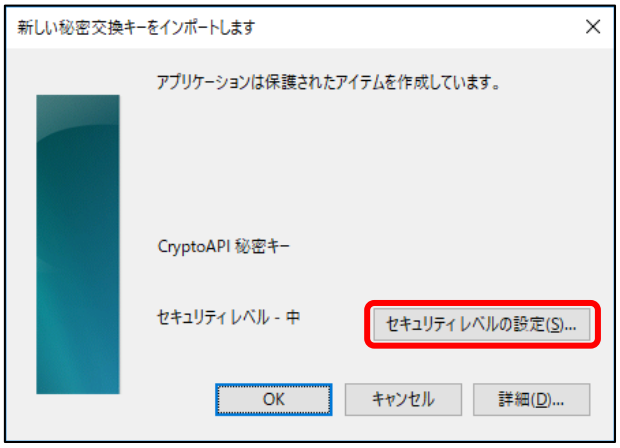
3．更新申請情報の一覧に情報が表示されている場合は、対象の更新済み電子証明書の「Download Key」ボタンをクリックして電子証明書を取得してください。

※更新申請情報の一覧に情報が表示されていない場合は、更新申請が完了していませんので、「3.2.1. 電子証明書の更新」からやり直してください

注意 **上記の操作が終了したら、必ずすべてのブラウザを閉じて下さい。**

3.2.1.2.　こんなときは！

※証明書インストール時に「**新しい秘密交換キーをインポートします**」と表示された場合は、次の操作を行ってください。表示されない場合には「3.2.2. 登録した電子証明書の確認」に進みます。



1．「**セキュリティレベルの設定**」をクリックします。



2．任意の「**CyptoAPI 秘密キー**」のパスワードを入力し、「**完了**」をクリックします。

【※重要※】

作成したパスワードは、今後の証明書の更新時に利用するため、忘れないよう大切に保管ください。



3．「**ＯＫ**」をクリックします。

3.2.2. 登録した電子証明書の確認

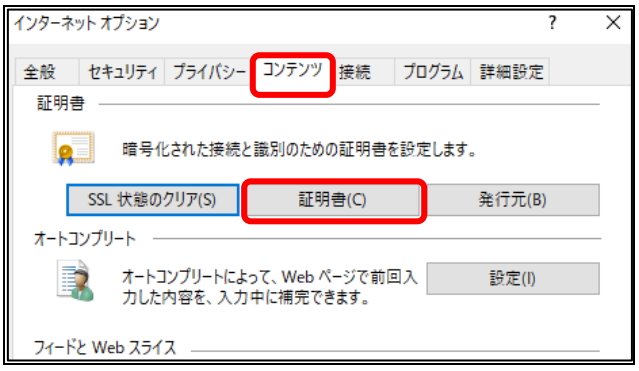
注意 必ずすべてのブラウザを閉じてから、手続きを実施して下さい。



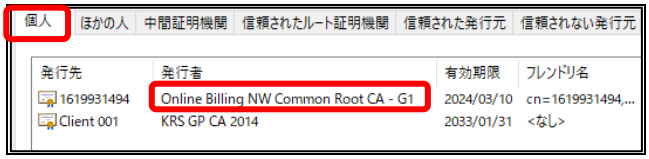
1．Internet Explorer を起動します。



2．画面右上の「**ツール**」ボタンから「**インターネットオプション**」をクリックします。



3．「**コンテンツ**」タブを選択し、「**証明書**」をクリックします。



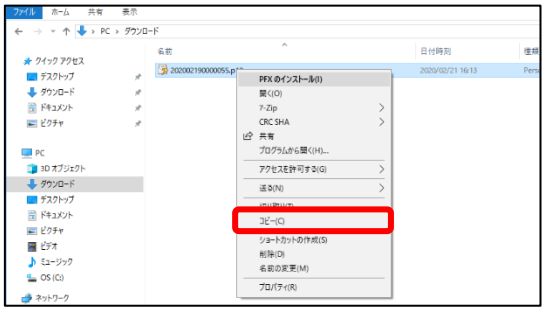
4．「**個人**」タブを開き、発行者が「**Online Billing NW Common Root CA**」と表示されている証明書が登録されていることを確認します。

注意 上記の操作が終了したら、必ずすべてのブラウザを閉じて下さい。

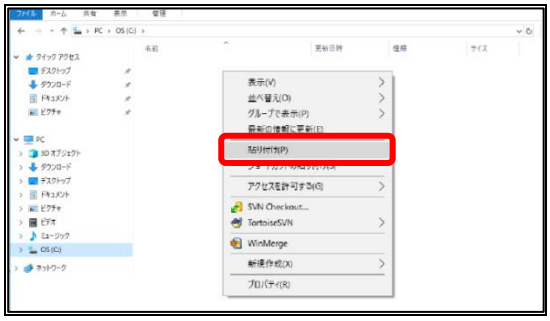
3.2.3.　電子証明書のバックアップ

外部記録媒体等へ証明書をバックアップします。バックアップした証明書はパソコンが故障した際などに他のパソコンにインストールすることができます。その際には、「3.2.1. 電子証明書の更新」で設定したパスワードも必要となるため、忘れないように保管ください。

なお、セキュリティやコンプライアンス上の理由からバックアップファイル作成の目的以外の目的で電子証明書の複製を行うことは禁止されております。



１．インストールを行った証明書ファイルを選択し右クリックで「**コピー**」を選択します。



２．外部記録媒体等のフォルダを開き、「**貼り付け**」を選択します。

【注意】

「電子証明書」「証明書の取得画面で入力した証明書パスワード」は厳重に管理してください。これら 2 つの情報が第三者に渡ると、電子証明書が不正に使用される恐れがあります。

電子証明書更新申請サイトからの電子証明書の更新の作業はこれで終了です。

次ページからの手続きは、電子証明書の失効手続きです。

失効手続き後は、失効申請の取消しはできませんので、

ご留意ください。

4.　電子証明書の失効手続き

4.1.　電子証明書の失効申請

注意	必ずすべてのブラウザを閉じてから、手続きを実施して下さい。



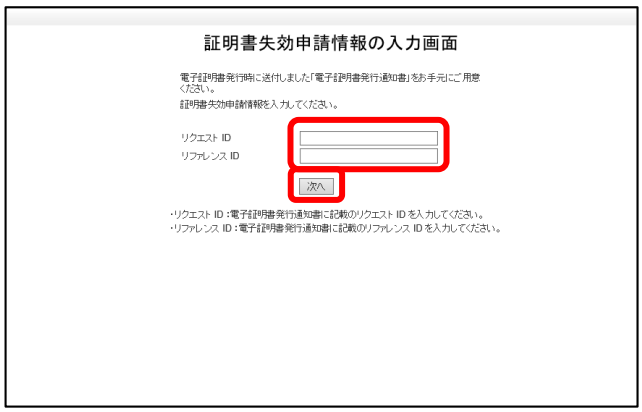
1．**失効対象の証明書がインストールされた端末**からオンライン請求ネットワークに接続して「証明書失効申請情報の入力画面」へアクセスします。

【証明書失効申請サイト】

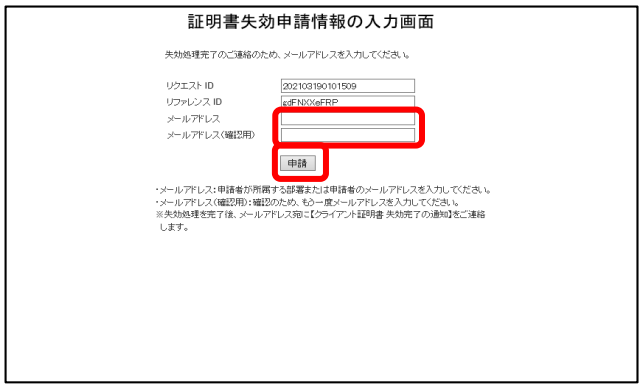
https://cert.obn.managedpki.ne.jp/p/rx

【こんなときは！】

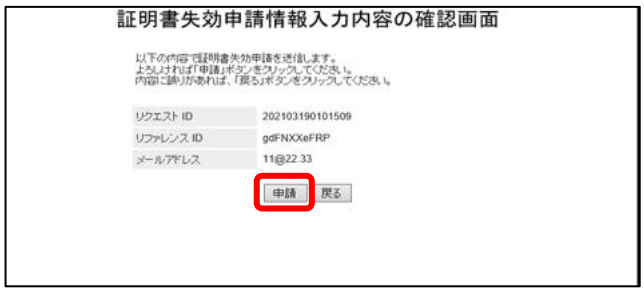
証明書の失効画面を開く時、ブラウザの画面に「**お使いの PC は Web サイトのセキュリティ証明書を信頼しません**」と表示される場合は、ルート証明書のインストールが必要であるため、「6.2.5.　ルート証明書の取得とインストール」を参照



2．電子証明書発行通知書に記載の「**リクエスト ID**」と「**リファレンス ID**」を入力し「**次へ**」をクリックします。「**証明書失効申請情報の入力画面**」が切り替わります。



３．失効申請者の申請者の「**メールアドレス**」と「**メールアドレス(確認用)**」を入力し、「**申請**」をクリックします。「証明書失効申請情報の確認画面」へ遷移します。



４．内容を確認し、「**申請**」をクリックします。
失効申請が承認されると入力されたメールアドレス宛に失効完了をご連絡します。

注意	**上記の操作が終了したら、必ずすべてのブラウザを閉じて下さい。**

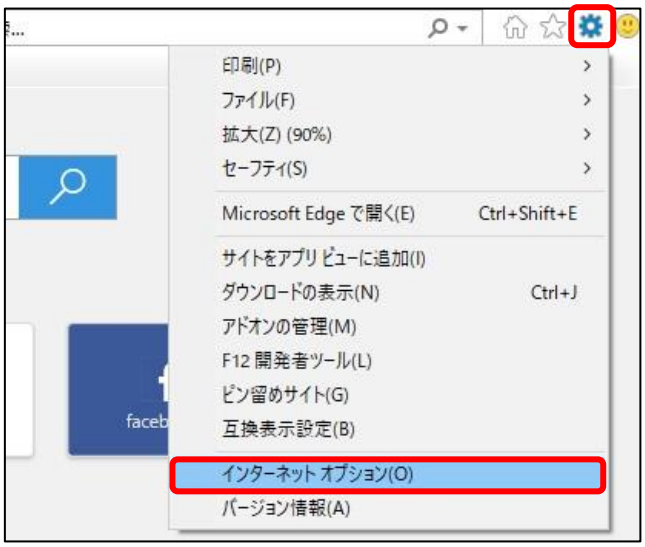
4.2.　電子証明書の削除

失効申請の後、共通認証局において失効処理が完了すると「【クライアント証明書 失効完了の通知】」の通知メールを受信後、「5. 電子証明書の削除」の手順に従い該当の電子証明書の削除を行ってください。
なお、失効処理が完了するまで数日間要する場合があります。

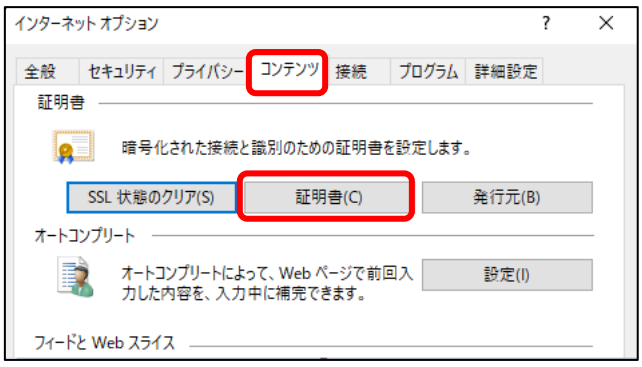
電子証明書の失効手続きの作業はこれで終了です。

5. 電子証明書の削除

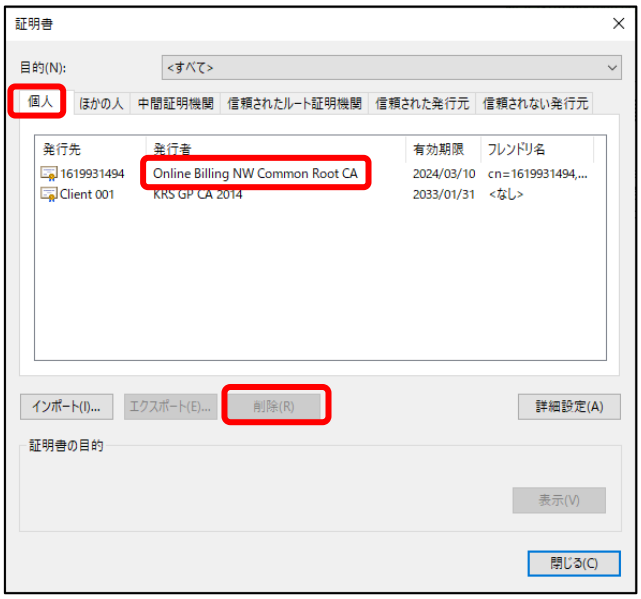
注意 **必ずすべてのブラウザを閉じてから、手続きを実施して下さい。**



1．Internet Explore を起動し、画面右上の「**ツール**」ボタンから「**インターネットオプション**」をクリックします。



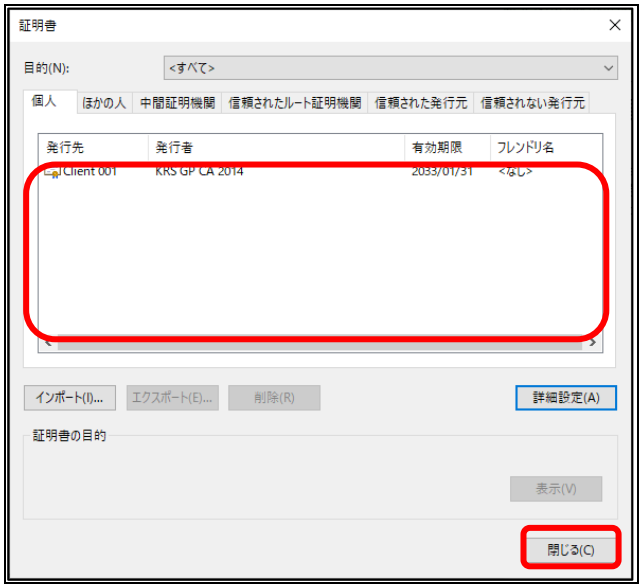
2．「**コンテンツ**」タブを選択し、「**証明書**」をクリックします。



３．「**個人**」タブを開き、**有効期限が古い証明書**を選択し、「**削除**」をクリックします。
※発行者が「Online Billing NW Common Root CA」が含まれる表記となっていることを確認します。



４．「**はい**」をクリックします。



５．削除を行った証明書が一覧から削除されていることを確認し、「**閉じる**」をクリックします。

注意	上記の操作が終了したら、必ずすべてのブラウザを閉じて下さい。

6. サポート情報

6.1. MPKI クライアント利用環境

<table>
<tr><td>対応 OS</td><td><table>
<tr><td></td><td>32bit</td><td>64bit</td></tr>
<tr><td>Windows 8.1</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>Windows 10</td><td>○</td><td>○</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>依存するソフトウェア</td><td>MPKI クライアントを利用するためには、ご使用の PC に「Microsoft .NET Framework 4.8」以上がインストールされている必要があります。</td></tr>
<tr><td>表示言語</td><td>日本語のみ</td></tr>
<tr><td>サポートする Proxy 認証の種類</td><td>MPKI クライアントがサポートする Proxy 認証の種類は、以下のとおりです。
・Basic 認証
・NTLM 認証</td></tr>
</table>

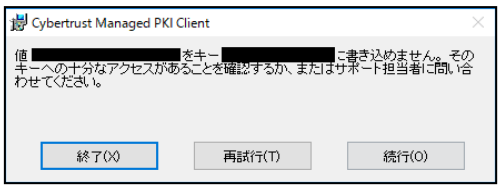
6.2.　ご利用にあたっての注意事項

6.2.1.　認証用の電子証明書の選択画面が表示された場合



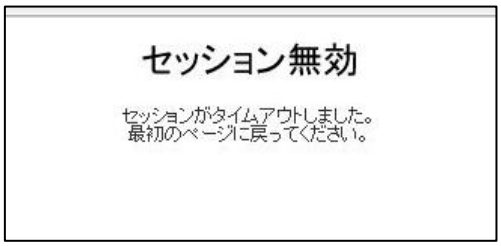
「**証明書の選択**」画面で発行者が「Online Billing NW Common Root CA」となっていることを確認し、「**OK**」をクリックしてください。

6.2.2.　MPKI クライアントインストール時の注意事項



左記のエラー画面が表示された場合は、「終了」をクリックし、再度インストールを実施ください。

6.2.3.　セッション無効時の対応トラブルシューティング



画面上の操作状態で一定時間作業を行わない場合は、セッションが無効であることを示す画面が表示されます。このような状態では引き続き作業ができないため、右上の「×」をクリックし、ブラウザを閉じた後再度ブラウザからユーザー用 URL へアクセスし直してください。

6.2.4. 操作継続失敗画面表示時のトラブルシューティング



複数のタブやウィンドウで共通認証局の画面を開いた場合や、ブラウザの「戻る」ボタンなどで前の画面へ戻った場合に、この画面が表示されることがあります。
この画面が表示された場合は、共通認証局の画面を開いているタブとウィンドウをすべて閉じ、ブラウザを終了してください。
その後、ブラウザを起動し、利用する手続きの最初の画面から操作をやり直してください。
再度操作を行う際は、共通認証局の画面を複数のタブやウィンドウで開かないでください。

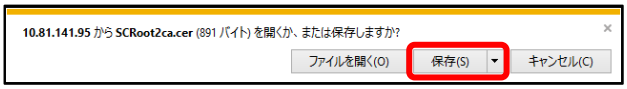
6.2.5. ルート証明書の取得とインストール

6.2.5.1. ルート証明書のダウンロード

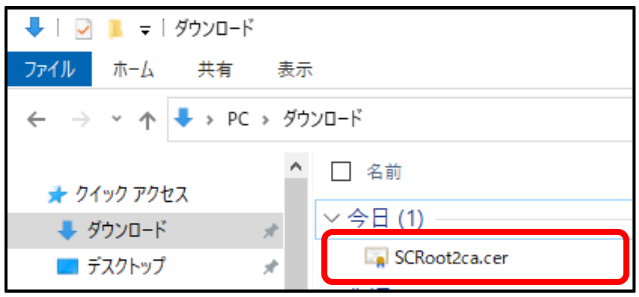
注意 必ずすべてのブラウザを閉じてから、手続きを実施して下さい。



1．<u>オンライン請求ネットワークへ接続の端末</u>からルート証明書のダウンロードサイトにアクセスします。
【ルート証明書ダウンロードサイト】
https://cert.obn.managedpki.ne.jp/p/cert



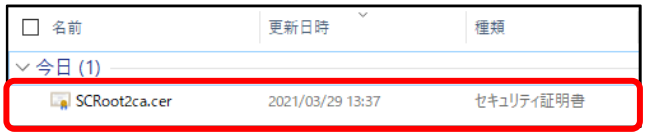
2．画面下の「**保存**」をクリックし、任意の場所に保存します。



3．ルート証明書がダウンロードできていることを確認します。

注意 上記の操作が終了したら、必ずすべてのブラウザを閉じて下さい。

6.2.5.2. ルート証明書のインストール



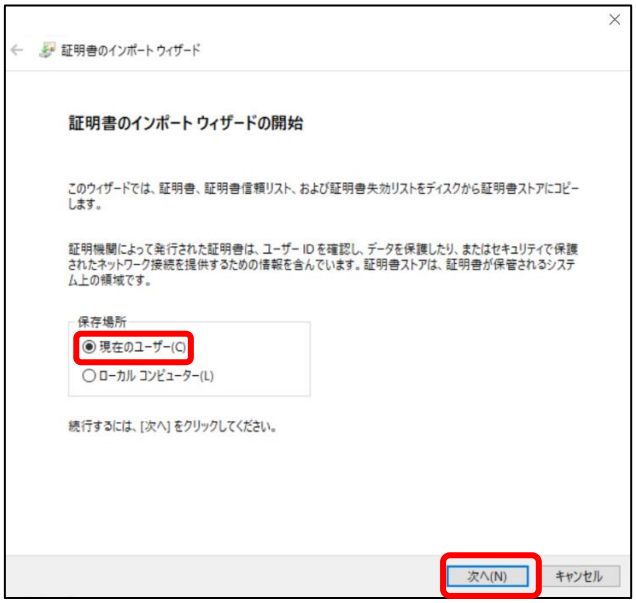
1．ダウンロードしたルート証明書をダブルクリックします。



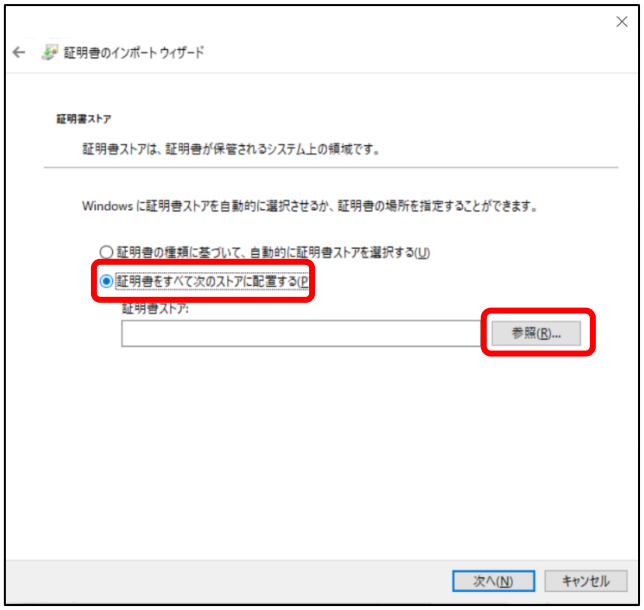
2．「**セキュリティの警告**」画面が表示されます。「**開く**」をクリックします。



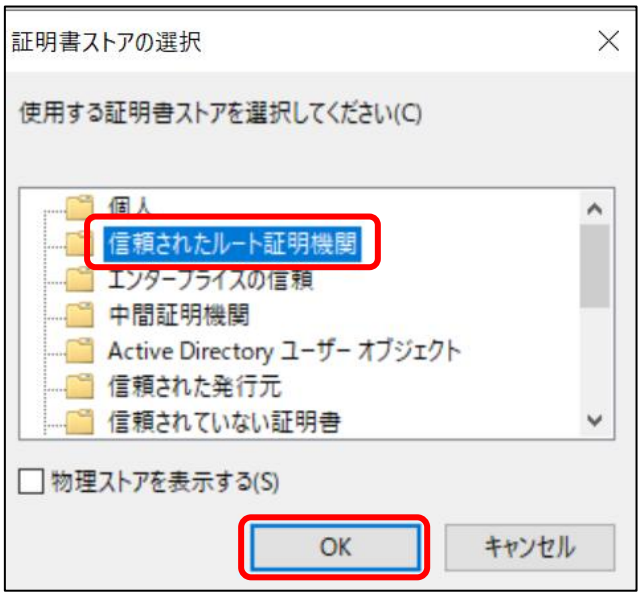
3．「**証明書**」画面が表示されます。「**証明書のインストール**」をクリックします。



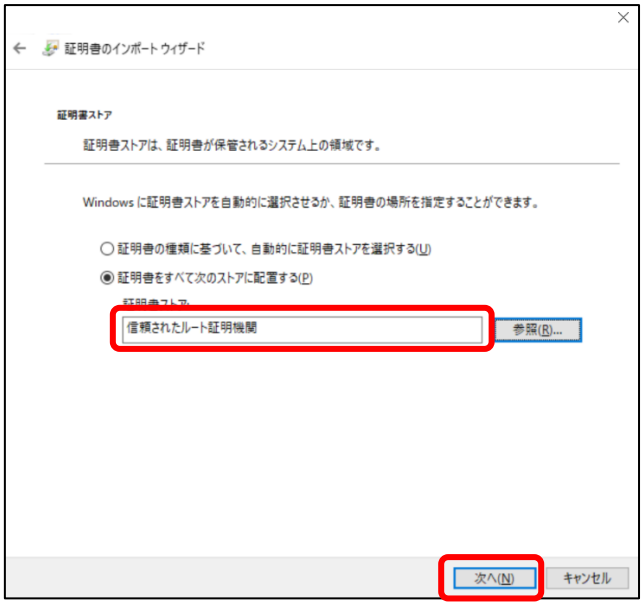
4．「**証明書のインポートウィザード**」画面が表示されます。「**現在のユーザー**」が選択されていることを確認し、「**次へ(N)**」をクリックします。



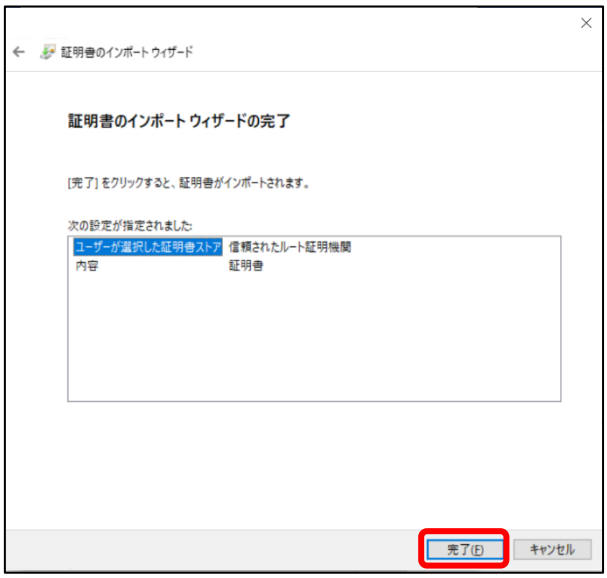
5．「**証明書をすべて次のストアに配置する(P)**」を選択し、「**証明書ストア**」の右側にある「**参照**」をクリックします。



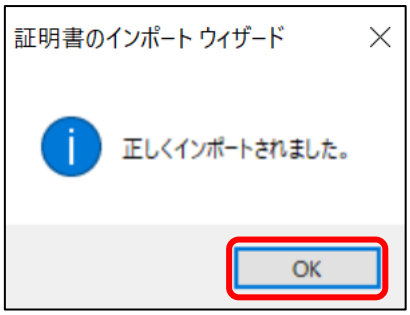
6．「**証明書ストアの選択**」画面が表示されます。「**信頼されたルート証明機関**」を選択して「**OK**」をクリックします。



7．「**証明書のインポートウィザード**」画面が表示されます。「**証明書ストア**」に「**信頼されたルート証明機関**」が表示されていることを確認して「**次へ**」をクリックします。



8．「**完了**」をクリックします。



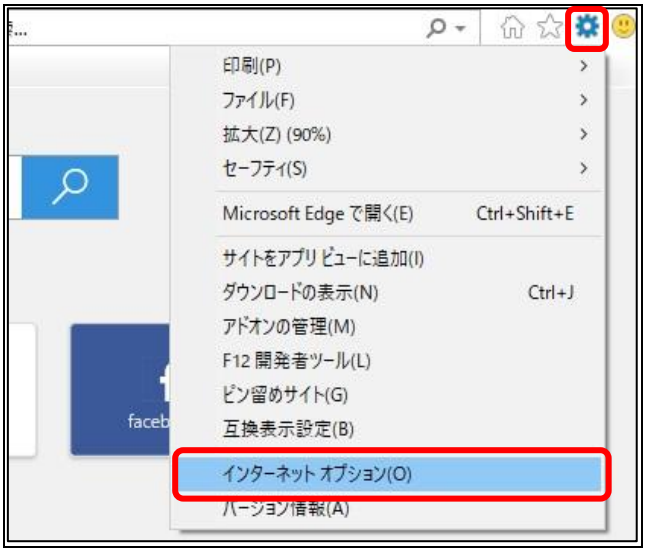
9．「**正しくインポートされました。**」のメッセージを確認し、「**OK**」をクリックします。

6.2.5.3.　登録したルート証明書の確認

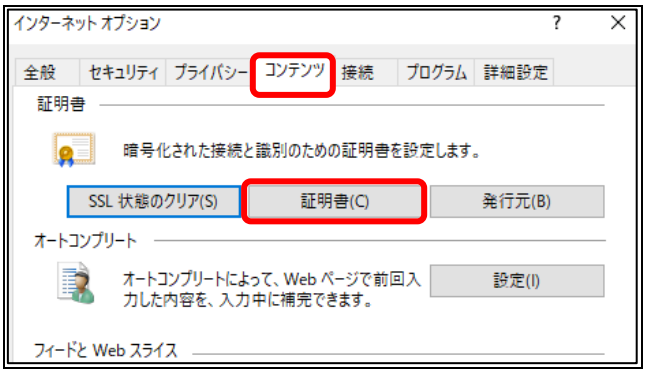
注意　**必ずすべてのブラウザを閉じてから、手続きを実施して下さい。**



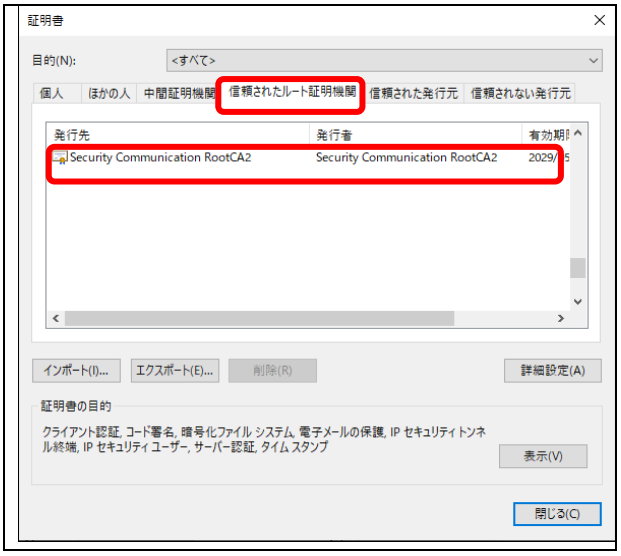
1．Internet Explorer を起動します。



2．画面右上の「**ツール**」ボタンから「**インターネットオプション**」をクリックします。



3．「**コンテンツ**」タブを選択し、「**証明書**」をクリックします。



４．「**証明書**」画面が表示されます。
「**信頼されたルート証明機関**」タブを開き、発行者が「Security Communication RootCA2」と表示されている証明書が登録されていることを確認します。

注意	上記の操作が終了したら、必ずすべてのブラウザを閉じて下さい。

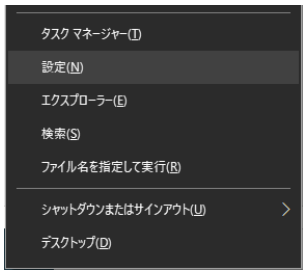
MPKI クライアントのバージョンアップ

【MPKI クライアントとは】

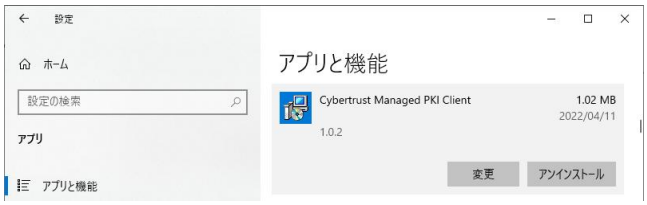
MPKI クライアントを使用すると、有効期限の前に更新をお知らせする機能や証明書の更新を簡易に行う機能が利用できます。
MPKI クライアントをインストールできる対象の OS は、Windows8.1 と Windows10 です。
利用環境の詳細は「6.1. MPKI クライアント利用環境」を参照ください。

【バージョンアップとは】

MPKI クライアントは、必要に応じてセキュリティアップデートなどが行われます。アップデートが行われた場合、共通認証局運営主体より、アップデートの周知が行われます。アップデートの周知があった場合に、本章の手順に従って、旧バージョンのアンインストール、最新バージョンのダウンロード・インストールの実施をお願いいたします。



1．**オンライン請求ネットワークへ接続の端末**で、キーボードの「⊞」キーを押しながら「X」キーを押し、表示された一覧から「**設定**」>［**アプリ**］または「**コントロールパネル**」>「**プログラムと機能**」をクリックします。



2．アンインストールしたいアプリを選択し、「**アンインストール**」、または「**アンインストールと変更**」を選択し、画面の指示に沿って、アンインストール作業を行います。



3．「2.2. MPKI クライアントインストール」の手順に従って、MPKI クライアントのインストール作業の実施をお願いいたします。